

～ 海賊対処の第8次派遣部隊がソマリア沖・アデン湾に向け出港 ～

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処のため、第8次派遣海賊対処行動水上部隊が3月15日に日本を発った。

第8次隊は、第8護衛隊司令（山本喜清一等海佐）の指揮の下、護衛艦「いなづま」（山口正之艦長）および同「さざなみ」（中村正三艦長）、乗員約370名（海上保安官8名含む）により編成され、3月15日に呉基地を出港した。両艦は現地到着次第、第7次隊の護衛艦「きりさめ」・「ゆうだち」に代わり、護衛活動を開始することとなる。

出港行事には、当協会より、諸岡日本郵船代表取締役専務経営委員、根本商船三井執行役員および半田当協会常務理事他が出席し、派遣部隊の指揮官らに花束を贈呈するなど、新たにソマリア沖・アデン湾に赴く護衛艦の乗員の方々に感謝の意を表した。（海務部）



出港挨拶をする山本第8護衛隊司令



参列する諸岡日本郵船代表取締役専務経営委員ほか当協会関係者



岸壁から見送る自衛隊員の方々



出港する「さざなみ」